

VIDEO CAMERA

Publication number: JP1212178

Publication date: 1989-08-25

Inventor: TAKAHASHI KIMIHIDE

Applicant: FUJI PHOTO FILM CO LTD

Classification:

- international: H04N5/225; H01Q1/24; H04R1/02; H04N5/225;
H01Q1/24; H04R1/02; (IPC1-7): H04N5/225; H04R1/02

- european:

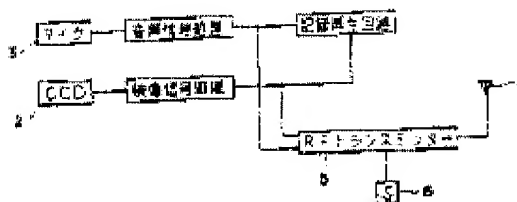
Application number: JP19880035199 19880219

Priority number(s): JP19880035199 19880219

[Report a data error here](#)

Abstract of JP1212178

PURPOSE: To simplify constitution and to attain cost-down by using a rod antenna for transmission also as the pillar of a microphone. CONSTITUTION: A microphone 3 is protruded in a horizontal direction by a freely stretchable pillar 4 so that a mechanic tone can not be picked up. This pillar 4 is used not only as the pillar but also as the rod antenna for transmission. Namely, an RF, transmitter 5 to transmit a video signal, which is a photographing signal-processed signal and a sound-signal processed signal, is built in a video camera 1 and the pillar 4 is connected to this RF transmitter 5 as the rod antenna. Thus, since the pillar 4 of the microphone 3 is used also as the rod antenna for transmission, a fitting space or the cost can be decreased.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-212178

⑬ Int. Cl.⁴

H 04 N 5/225
H 04 R 1/02

識別記号

1 0 7

庁内整理番号

F-8121-5C
7314-5D

⑭ 公開 平成1年(1989)8月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ビデオカメラ

⑯ 特 願 昭63-35199

⑰ 出 願 昭63(1988)2月19日

⑱ 発 明 者 高 橋 公 英 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士写真フイルム株式
会社内

⑲ 出 願 人 富士写真フイルム株式 神奈川県南足柄市中沼210番地
会社

⑳ 代 理 人 弁理士 光石 英俊 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

ビデオカメラ

2. 特許請求の範囲

撮影中のビデオ信号を外部のテレビジョンシステムへ送信する送信機を内蔵したビデオカメラにおいて、マイクの支柱を送信用ロッドアンテナに兼用し、かつ、該ロッドアンテナを引き出すことにより前記送信機の電源を投入するようにしたことを特徴とするビデオカメラ。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は送信機を内蔵したビデオカメラの改良に関する。

<従来の技術>

近年、ビデオカメラにオプションとして送信機を装着して、撮影中のビデオ信号を小出力の電波を用いて離れたテレビジョンシステムでモニタであるものが市販されている。

このようなビデオカメラを用いると、被写体に気づかれずに撮影しながら、撮影像をテレビジョンシステムで確認することができる利点がある。例えば、結婚式などにおいて、ビデオカメラを三脚に据えておけば撮影者はビデオカメラに付ききりにならずとも良いので便利である。

<発明が解決しようとする問題点>

しかし、送信機をビデオカメラに内蔵しようとする場合に、送信機に必要な不可欠である送信用アンテナをどのように処理すれば良いかが問題となる。ただ、単に送信用アンテナとして設ければ、それだけ大きなスペースも必要となるだろうし、それだけコストも上昇する。また、送信用アンテナの存在があまり目立つと、いわゆる機械的であるとして女性客に嫌われる原因ともなりかねない。更に、内蔵した送信機をはたらかすために、スイッチを設けた場合操作が従来に比して煩雑となる。

一方、ビデオカメラの中には、音声集録用のマイクがメカ音を拾わないように、マイクを伸縮自在な支柱を介してビデオカメラに設けているものがある。このようなビデオカメラにおいては専用の送信用アンテナは不要であることに着目して本発明は完成されたのである。

即ち、本発明は、送信機を内蔵したビデオカメラにおいて、その構成の簡略化を図り、コストダウン等を目的とするものである。

<問題点を解決するための手段>

斯かる目的を達成する本発明の構成は撮影中のビデオ信号を外部のテレビジョンシステムへ送信する送信機を内蔵したビデオカメラにおいて、マイクの支柱を送信用ロッドアンテナに兼用し、かつ、該ロッドアンテナを引き出すことにより前記送信機の電源を投入するようにしたことを特徴とするものである。

<実施例>

以下、本発明の実施例について図面を参照

せいぜい十数センチの長さで充分である。また、UHFの帯域を音声の帯域とは十分に離れているから電磁気的な干渉はないものと思われるが、必要ときにはシールドを設けて遮蔽すれば良い。送信するビデオ信号としては、音声信号を省略するようにしても良い。更に、送信用ロッドアンテナの根本にはこれを引き出すことによって、送信機を作動させるためのスライドスイッチ6が入っている。

尚、図中では省略されているが、システムコントロール、サーボ電源、AF、AE等の回路等が内蔵されている。

上記構成を有する本実施例のビデオカメラにおいては、マイク3の支柱4が送信用ロッドアンテナを兼ねているので、専用のロッドアンテナを設ける場合に比べ、取付スペースやコストの減少となる。更には、外観がすっきりして、まとまった感じを与えることになる。また、上記実施例のビデオカメラとデッ

キが一体型となったものであったが、ビデオカメラとデッキが別体で、これらをケーブルを介して接続するものであっても本発明を適用できるものである。

第1図～第3図に本発明の一実施例を示す。同図に示すように、ビデオカメラ1は固体撮像素子(CCD)2、マイク3からの出力をそれぞれ映像信号処理し、音声信号処理してビデオテープに記録し、あるいは再生できるようにしたものである。いわゆる、ビデオデッキ体型と呼ばれるものである。ここで、マイク3はメカ音を拾わないように、伸縮自在な支柱4により水平方向へ突出できるようになっている。この支柱4は支柱として用いられるだけでなく、送信用ロッドアンテナを兼ねている。即ち、映像信号処理された信号及び音声信号処理された信号であるビデオ信号を送信するRFトランスミッタ(送信機)5がビデオカメラ1に内蔵されると共にこのRFトランスミッタ5に前記支柱4がロッドアンテナとして接続されている。RFトランスミッタ5がUHF帯域の電波を送信する場合には、その送信用ロッドアンテナとしては

<発明の効果>

以上、実施例に基づいて具体的に説明したように本発明は、送信機を内蔵したビデオカメラにおいて送信用ロッドアンテナをマイクの支柱と兼用するようにしたので、構成が簡略化し、コストダウン等が可能になる。また、送信機を内蔵したことによる操作スイッチの追加が不要で、操作の煩雑さをさけることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係るビデオカメラの外観図、第2図は伸縮するマイクの支柱を示す正面図、第3図は本発明の一実施例に係るブロック図である。

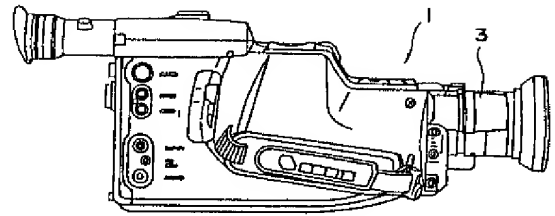
図 面 中、

1はビデオカメラ、

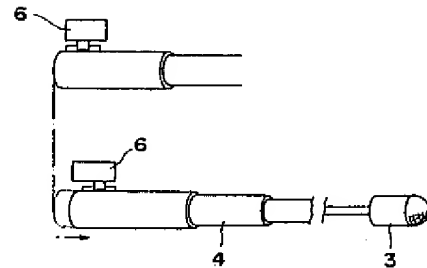
- 2はCCD、
 3はマイク、
 4はマイクの支柱(送信用ロッドアンテナ)、
 5はRFトランスミッターである。
 6はスライドスイッチである。

特許出願人
 富士写真フイルム株式会社
 代理人
 弁理士 光石英俊
 (他1名)

第1図



第2図



第3図

